

精神看護学概論	2 年・前期	1 単位 15 時間	教授 高橋ゆかり
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210822

1. 授業のねらい・概要

精神看護学の意義・目的および患者-看護師関係における相互作用の理解と、精神医療の歴史的背景を通し、精神看護における倫理的課題を理解する。

2. 学修の到達目標

1. 精神看護の基本概念を理解できる。
2. 精神保健医療の歴史的背景を理解できる。
3. 精神看護における倫理および精神に健康問題をもつ対象の人権擁護について理解できる。
4. 対象者-看護師関係の相互作用の意義と看護援助について理解できる。

3. 授業の進め方

講義を中心に進める。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	精神障害の基本的なとらえ方	講義	予習：テキスト1の第1章A・Bを読んで、わからない言葉を調べる。 復習：精神障害者の現状をまとめる。	高橋ゆかり
2	精神科看護における対象の理解	講義	予習：テキスト1の第1章C・Dと、テキスト2の第8章を読んで、わからない言葉を調べる。 復習：精神看護における症状の捉え方をまとめる。	高橋
3	精神科看護におけるケアの方法①（コミュニケーション）	講義	予習：テキスト2の第8章A・B・Cを読んで、わからない言葉を調べる。 復習：精神症状がコミュニケーションに与える影響をまとめる。	高橋
4	精神科看護におけるケアの方法②（日常生活援助）	講義	予習：テキスト1の第1章A・Bを読んで、わからない言葉を調べる。 復習：患者の回復を促す治療的環境についてまとめる。	高橋
5	対象者-看護師関係の理解	講義	予習：テキスト2の第8章E・Fと終章を読んで、わからない言葉を調べる。 復習：看護における感情労働と共感疲労についてまとめる。	高橋
6	精神医療と看護の歴史的変遷	講義	予習：テキスト1の第7章A・Bを読んで、わからない言葉を調べる。 復習：精神医療の歴史と現状をまとめる。	高橋
7	看護の倫理と人権擁護	講義	予習：テキスト2の第7章D、第9章C、第10章A、第13章・Bを読んで、わからない言葉を調べる。 復習：精神医療におけるアドボカシーの必要性についてまとめる。	高橋
8	まとめと試験	試験	予習：試験範囲を覚える。	高橋

5. 成績評価の方法・基準

授業中の態度(10%)，定期試験(90%)を総合して評価する。再試験は実施しない。

6. テキスト・参考文献

テキスト：武井麻子（2021）：系統看護学講座 精神看護学 1 精神看護の基礎 医学書院
テキスト：武井麻子（2021）：系統看護学講座 精神看護学 2 精神看護の展開 医学書院

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

シラバスの範囲をみて，関連するテキストで事前学習して望むこと。

毎回，授業計画の学修課題に沿って，最低2時間以上予習・復習し受講すること。

8. 受講上の留意事項

精神看護学実習の先修科目である

主体的，意欲的な授業への参加が重要である。遅刻，欠席および授業中の私語，授業中に授業に関連する作業以外の行動は，参加態度として評価対象とするので注意すること。

9. 課題に対するフィードバックの方法

定期試験の解答は試験後口頭等でフィードバックする。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関等における看護師としての実務経験を活かして，講義を行う。